



## 主要な農作物の生育情報

平成22年度 第6号  
(平成22年 9月 6日)  
福島県農林水産部研究技術室



### 【水 稲】

農業総合センターの生育調査では、出穂期が平年より3～6日早まりました。

出穂期からの積算気温から見た成熟期は、高温の影響により平年より7～13日早まる予想となっています。(表1)

各農林事務所による調査でも、出穂期は県全体で5日早まっており、猛暑の影響から刈取適期が早まる状況となっています。

表1：水稲主要品種の出穂期と成熟期予想（農業総合センター）（9月2日現在）

場 所	品 種	田植日 (月日)	出穂期			成熟期(予想)		
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)
本 部	ひとめぼれ	5.14	8.01	8.06	-5	(9.08)	9.17	(-9)
	コシヒカリ	5.14	8.08	8.14	-6	(9.20)	9.30	(-10)
会津地域 研究所	ひとめぼれ	5.20	8.01	8.05	-4	(9.07)	9.15	(-8)
	コシヒカリ	5.20	8.07	8.10	-3	(9.17)	9.24	(-7)
浜地域 研究所	ひとめぼれ	5.10	7.31	8.06	-6	(9.05)	9.18	(-13)
	コシヒカリ	5.10	8.08	8.14	-6	(9.21)	10.03	(-12)

農業総合センター作柄解析試験（本年成熟期は積算気温による予想値）  
ひとめぼれ 950 到達日  
コシヒカリ 本部、会津地域は1000 到達日、浜地域は1050 到達日

### 【大 豆】

農業総合センターによる調査では、開花期が本部や浜地域研究所では6日～7日早まりました。

生育量は、本部（郡山）や浜地域研究所では平年並み以上を確保しておりますが、会津地域研究所では草丈が短い状況となっています。

### 【そ ば】

農業総合センター会津地域研究所の調査では、福島県オリジナルそば品種「会津のかおり」について、8月20日より開花始めとなり、8月30日より開花盛期を迎えています。

各農林事務所による調査では、播種作業は7月中旬から開始され8月上旬までにほぼ終了しています。生育は良好であり、現在開花盛期を迎えているところが多い状況です。

農業総合センター作況試験（水稲、大豆）の調査結果はこちらを参考にしてください。

[http://www4.pref.fukushima.jp/nougyou-centre/sakkyou\\_index.htm](http://www4.pref.fukushima.jp/nougyou-centre/sakkyou_index.htm)

## 【野 菜】

### 1 夏秋きゅうり

県内各地の露地栽培では、4月は種のもので孫づる上段及び放任枝の収穫となっています。全般に草勢が低下し、尻細果や曲がり果の発生が多くなっています。また、かん水施設のないほ場や病害が多発したほ場では、平年より早く栽培を終了している場合が多くあります。5月は種、6月は種のもものは生育は順調ですが、草勢が低下傾向にあります。病害虫では褐班病、炭疽病、ハダニ類、ハモグリバエの発生が多くなっています。

### 2 夏秋トマト

県南地方では、現在10段果房収穫中です。生育は平年並みですが、小玉傾向にあります。病害では葉かび病の発生が多くなっています。

会津地方の平坦部では、9段果房を収穫中です。生育は平年並みですが、草勢が低下し上段に花落ちが見られます。また、裂果の発生が多く病害では葉かび病、うどんこ病が散見されます。

南会津地方では、現在6段果房収穫中です。生育は平年並みですが、裂果の発生が多く小玉傾向にあります。病害では青枯病と灰色かび病の発生が多くなっています。

### 3 サヤインゲン

田村地方では、現在4月は種のもものは収穫をほぼ終了し、6～7月は種のもものを収穫中です。生育は順調ですが高温・乾燥の影響で落花や曲がり果等の発生が多くなっています。

双葉地方の4月は種のもものは、収穫をほぼ終了し、現在6月は種のもものを収穫しています。着果は良好ですが、曲がり果等が多く発生しています。

いずれの地方とも害虫で、ハダニ類の発生が多くなっています。

### 4 夏秋ピーマン

安達地方の露地栽培は、高温・乾燥により草勢が低下傾向にあります。また尻腐果や変形果の発生が多くなっています。

田村地方の露地栽培は、高温・乾燥により草勢が低下傾向にあります。着果が多いため、着果負担による芯止まりのほ場が散見されます。尻腐果の発生は、お盆以降少なくなっています。

いずれの地方とも害虫で、タバコガ、アザミウマ類の発生が多くなっています。

### 5 夏秋ナス

安達地方の露地栽培は、高温・乾燥により草勢が低下傾向にあり、尻太果や曲がり果等の発生が多くなっています。害虫ではハダニ類やタバコガの発生が見られます。

県中地方の露地栽培では、生育は全般に順調ですが、かん水のできないほ場では草勢が低下し、尻太果や曲がり果等が発生しています。

### 6 アスパラガス

会津地方、南会津地方とも現在夏秋どりの収穫中です。高温・乾燥により生育が抑制気味で、穂先の開きや曲がり等の発生が見られます。病害虫では茎枯病、斑点病、ヨトウムシ類、アザミウマ類の発生が見られます。

## 【果 樹】

### 1 モ モ

農業総合センター果樹研究所（以下、果樹研究所という）における「あかつき」の収穫始めは8月3日で平年並み、収穫盛りは8月6日で平年より1日早く経過し、果実品質は平年より糖度が高い状況でした。また、「川中島白桃」の収穫始めは8月27日で平年より2日遅く、「ゆうぞら」の収穫始めは9月1日で平年並みの状況でした。また、県北地方では、8月20日から「川中島白桃」、8月27日から「ゆうぞら」の選果が始まりました。

## 2 ナシ

果樹研究所における「幸水」の収穫始めは8月30日で平年より3日遅れました。また、県内産地では8月25日から「幸水」の選果が始まりました。

果樹研究所における「豊水」の果実肥大（暦日比較）は平年比94～96%とやや小さいですが、果実の生育日数による比較では平年並みの状況です。

## 3 リンゴ

果樹研究所における「つがる」の収穫始めは8月31日で平年より2日遅れました。また、県内産地では8月25日から「つがる」の選果が始まりました。

果樹研究所における「ふじ」の果実肥大（暦日比較）は平年比98～101%とほぼ平年並みで、果実の生育日数による比較でも平年並みの状況です。

## 【花き】

### 1 キク類

露地栽培の小ギクや輪ギクでは、7月中旬以降、高温と少雨が続いた影響で9月咲き品種の草丈はやや短めになっています。彼岸需要期には順調に出荷される見込みですが、このまま高温が続いた場合、一部の品種では遅れも予想されます。

安達地方のスプレーギクは、9月中旬から9月咲き品種の出荷が見込まれています。

害虫の発生については、アブラムシ類やオオタバコガの発生がやや多くなっています。

### 2 リンドウ

彼岸咲き品種の生育は、草丈や節数では平年並みですが、高温の影響により花蕾の生育が遅れているため、昨年より7～10日遅くなる見込みです。

病害虫では褐斑病やアザミウマ類の発生がやや多くなっています。

### 3 シュッコンカスミソウ

高冷地では新植株の出荷が最盛期を迎えています。11月上旬まで出荷される予定ですが、高温の影響で生育が前進しているため、10月出荷の数量は減少する見込みです。

病害虫では、ハダニ類やハモグリバエの発生が一部で見られますが、うどんこ病の発生は少ない状況です。

### 4 トルコギキョウ

各地域ともに抑制栽培の出荷が始まっていますが、高温の影響で早期着蕾がみられ、草丈はやや短めの状況です。また会津地方では、年内定植の加温促成栽培向けの種子冷蔵が始まりました。

### 5 シンテッポウユリ

須賀川地方のシンテッポウユリは、1年生株（品種：「うつみね」）の草丈が100～130cmで良好な生育です。出荷は前進傾向にあり、中生種が出荷終盤を迎えています。彼岸需要期には晩生種が出荷となる見込みです。

### 6 カラー

貯蔵球根や輸入球根の定植作業が終了し、現在、7月上旬定植のものが出荷されています。

高温の影響により、草丈は例年よりやや短く、開花も前進傾向にあります。

害虫については、アザミウマ類の発生がやや多くなっています。

## 【飼料作物】

### 1 牧草

県内の牧草は、現在三番草の生育期となっています。

地域によっては少雨の影響で牧草の草丈がやや低く、雑草の発生が見られます。

二番草は、作柄判定ほや畜産研究所では、順調に生育し梅雨明け後の7月下旬に収穫盛期となり、収量は平年並み、品質は天候に恵まれ、良質な牧草が収穫されました。

### 2 飼料用とうもろこし

飼料用とうもろこしは、作柄判定ほや畜産研究所では、順調に生育しており、平年並みからやや平年より早く生育し、一部地域では、8月下旬から収穫が行われています。

中晩生種では、9月上旬から中旬にかけて黄熟期となり、収穫適期を迎える見込みです。

## 【こんにゃく】

農業総合センターによる8月10日現在の球形の肥大率調査では、「あかぎおおだま1年生」は平年並みですが、「あかぎおおだま2年生」及び「みやままさり1年生」、「みやままさり2年」では平年を大きく下回っており、肥大は全体的に不良です。

## 【桑】

農業総合センターによる8月20日現在の伸長状況調査では、「改良鼠返」の春切りで前年比117%、夏切りで前年比95%となっています。また、「きぬゆたか」の春切りで前年比80%、夏切りで前年比75%となっています。

病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ  
<http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部研究技術室 TEL(024)521-7336

<http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyuukaihatu/gijyutsufukyu/seiikugijyutsujyohou.html>